

明治学院大学・大学院

【大学院・大学】

〔学部・学科の新増設計画〕

1. 大学院

2006年4月(改組)

社会学研究科社会学・社会福祉学専攻(博士後期課程)は、
社会学研究科社会学専攻(博士後期課程)
社会福祉学専攻(博士後期課程)に改組する

2007年4月(新設の準備)

心理学研究科に心理学専攻博士課程を設置し、博士前期課程、博士後期課程とする。

2. 大学

2006年4月(新設)

経済学部「国際経営学科」を開設
文学部芸術学科に「芸術メディア系列」を新設

〔教育・研究における重点分野〕

1. 大学院

7研究科12専攻からなる大学院は、学問への探究心旺盛な学生の養成を目指している。

- (1) 社会学研究科社会学・社会福祉学専攻(博士後期課程)は、2006年4月から社会学研究科社会学専攻(博士後期課程)および社会福祉学専攻(博士後期課程)の2専攻に改組し、研究・教育の充実と活性化を図る。
- (2) 経済学研究科と法科大学院で実施している本学学部3年次生(3年修了時)の大学院入学制度の充実により、研究・教育の活性化を図る。
- (3) 法科大学院の完成年度にあたり、新方式による司法試験受験の実績を踏まえて、一層の教育の充実を図る。
- (4) 2007年4月に心理学研究科心理学専攻博士課程の後期課程は定員4名とする。

2. 大学

2006年4月から経済学部「国際経営学科」の開設、文学部芸術学科に「芸術メディア系列」を新設、その研究・教育の充実と強化を図る。

また、社会学部の「都市部における地域社会の活性化への取組」が文部科学省の高等教育の発展と活性化をねらいとする「現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)」に採用され、2005年度から3年間に補助金を活用した研究・教育を強化していく。このように、明治学院大学の研究・教育は実践的な側面を重視しており、2006年度は特に国際交流・キャリア形成・ボランティア活動に力を注いでいく。

(1) ボランティア活動の支援

文部科学省の2003年度「特色ある大学教育支援プログラム」に「大学教育における社会参画体験の取込と実践 ～ボランティアセンターによる教育支援の試み～」というテーマで選定され、現在はその実

践に取り組んでいる。

経済学科、経営学科、社会福祉学科、国際学科、政治学科の正規授業の中で社会参加を柱とする科目も設けている。

海外ボランティア活動、海外NPOでのボランティア体験を実施していく等、学生支援システムの充実と強化を図る。

(2) キャリアサポート体制の強化

将来のキャリア・プランをたて、それに向かい実行しはじめるのが大学生活であるとの観点から、1・2年次生向けに卒業後のキャリア形成に関する講座を実施し、早い時期から「就職」に対する理解を深められるよう努めていく。

実際の就職活動への取り組みは3年生の9月に実施する「就職ガイダンス」からとなり、ここで就職活動の流れ、心構えを説明し、その後に業界別セミナーやマスコミ支援講座など、希望職種の絞込みや、具体的な就職活動の方法を理解できるような種々の講座を実施する。

また、同窓会が主催するOB・OGによる「仕事」や「業界」に関する講演会や、内定した4年生による3年生への「就職活動報告会」などを実施して、多角的・包括的な就職支援プログラムを提供。一方、個人面談・模擬面接など個別対応にも力を入れていく。

(3) 国際交流の充実

世界12カ国、18校の海外協定校へ、活発な派遣・交換留学を実施。年間180名以上の留学生を派遣し、100名以上の交換留学生を迎えるといった大きな実績をあげており、交流人数は私立大学の中でもトップクラスに位置している。また、私費外国人留学生(正規課程に在籍)も73名(うち大学院6名)となり、前年度より25名増加している。

2006年度においても、協定校の増加や短期・長期派遣・交換留学プログラムの充実を図りながら、国際色豊かな環境での活発な交流を通して、真の国際性を身につけられるシステムを強化する。特に海外から受け入れる留学生数の増加を実現するための環境整備 海外へ送り出す留学生数の増加と学生の能力向上を実現するためのシステム構築を推進する。

(4) 社会学部現代GPプロジェクトによる教育支援

学内で障害者雇用を学生と一緒に進めることで、障害者との共働や学生自身の就業体験により豊かな社会性を身につけるなど、実践的な教育効果を図る。

学生プロジェクトチームの活動は、社会学部学生を中心に複数学部の学生が共同して調査・研究活動を展開することによって、専門領域を超えた幅広い視野で柔軟性に富む人材育成を総合大学の特徴を活かして取り組む。この活動を通じた学生の学び・経験は、社会に出たときに企業人として、新しい価値を生み出す一助として社会に貢献することが出来る。

新規科目「共生社会の理解」及び「インターンシップ」においては、共生社会の理解を深めるにあたって企業の障害者雇用への姿勢を企業人からも学ぶ。また、インターンシップの実施により、学生の実践的教育環境の充実を図り、更なる企業の障害者雇用拡大を促進できる人材養成を行う。

(5) 高大連携の充実

法学部と社会学部(2005年度)で実施している高校(田園調布・舞岡・横浜桜陽・明治学院)と大学との連携について、制度と教育の一層の充実を図る。

〔学生・生徒の募集人数〕

1. 2006年度大学院募集人数(2007年度は未定)

研究科	専攻	博士前期課程 (修士課程)	博士後期課程
-----	----	------------------	--------

文	英文	12	2
	フランス文	10	5
	芸術	10	5
経済	経済	10	3
	経営	40	3
社会	社会	10	2
	社会福祉	10	3
法	法律	15	5
国際	国際	10	3
心理	心理	教育発達臨床	10
		心理臨床	20

計 188名
(前年度同数)

2. 2006年度法科大学院募集人数

研究科	専攻	専門職学位課程
法務職研究科	法務専攻	80

(前年度同数)

3. 2006年度大学募集人数

学部・学科		募集人員
文	英 文	260
	フランス文	120
	芸 術	125
経済	経 済	290
	経 営	180
	国際経営	140
社会	社 会	230
	社会福祉	240
法	法 律	280
	消費情報環境法	175
	政 治	120
国際	国 際	270
心理	心 理	200

計 2,630名
(前年度同数)

〔その他の特記事項〕

(1) 横浜キャンパスにおける教育環境の整備

受電施設上の空間を利用した校舎建設

老朽化した施設の更新による学生の生活環境の向上

居心地のよい空間とするための全般的な条件整備

グラウンドの改修整備

狭隘化した図書館施設の整備拡充の計画に着手

(2) 「FD・教育評価プログラム2006」と「戦略的教学改革プログラム2006」の推進

(3) ブランディング・プロジェクトの推進

(4) 校友会組織設立にともなう校友サポートシステムの構築

(5) 学生の課外活動(スポーツおよび文化)に対する支援の強化

(6) 高輪校地の利用計画着手に対応できる財務的準備